

# ウガンダの綿産業を大阪泉州の技術が変える

## オーガニック製品「真面綿（まじめん）」の技術をアフリカへ

国際協力機構（JICA）は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社スマイリーアース（大阪府泉佐野市）が提案する「オーガニック精練技術を活用した綿花製品の付加価値向上に関する案件化調査」（ウガンダ）を採択しました。

アフリカのウガンダ共和国は労働人口の約8割が農業に関わる農業大国であり、特産品としてオーガニックコットンをはじめとする高品質な綿花を産出しています。しかし近年、アジア製の廉価な綿製品が市場を脅かしており、競争力向上が課題となっています。

タオル生産で有名な泉佐野市にある株式会社スマイリーアースは、ウガンダの天然素材であるシアバター（\*アフリカ原産のシアの木の实から取れる油脂）を使用し、化学薬品に頼らないオーガニック精練技術で、はずむような肌触りのオーガニックコットン製品「真面綿」を生産しています。この精練技術をウガンダに移転し、競争力を上げることで、綿産業の活性化と農民の収入向上を目指すため、今回の調査を行います。



ウガンダでの綿花の収穫の様子（スマイリーアース取締役 奥氏）

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査2014年度補正予算／2015年度第1回公示の採択結果について

URL：[http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716\\_01.html](http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html)

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 小西

TEL：078-261-0397 e-mail：[Konishi.Yoko.2@jica.go.jp](mailto:Konishi.Yoko.2@jica.go.jp)